

令和6年度 調布市立第七中学校 指導計画・評価計画表 【2年生 国語科】

観点 1 知識・技能 2 思考・判断・表現 3 主体的に学習に取り組む態度

指導単元	観点	単元の評価基準	具体的評価基準（おおむね満足 B ）	評価方法・場面	弱点克服の手立て
全単元で共通して指導を実施する項目	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気付くことができる。</li> <li>・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。</li> <li>・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の読み書き小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・文法（品詞の分類）の小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・古文・漢文の基礎知識、基本単語を理解することができ、小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。</li> <li>・習得した新出漢字や語彙などを用いて、用法・文法ともに概ね正しい文章を書くことができている。</li> <li>・字形や運筆、書き順などに注意し、正確に課題の字を書くことができている。</li> <li>・文字を正しく整えて速く書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補習</li> <li>・質問教室</li> <li>・添削</li> <li>・再提出</li> <li>・未提出物連絡</li> </ul> <p>※全ての単元で同じ手立てを実施する。</p>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。</li> <li>・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。</li> <li>・言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。</li> <li>・主体的に学習に取り組む、より深い学びを目指して取り組みの状態を創意工夫することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題のの意味や目的を理解し、積極的に課題に取り組もうとしている。</li> <li>・漢字が持つ意味や用法を踏まえて漢字の習得をしようとしている。</li> <li>・学習の内容や取り組みの状態を振り返り、今後の学習に生かそうとしている。</li> <li>・ノートを正確にとり、自らの学習に生かそうとしている。</li> <li>・作品や問題集などのねらいや目標を正しく理解し、取り組んだものを提出することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度観察</li> <li>・発言意欲</li> <li>・ファイル、ノート</li> <li>・ワーク</li> <li>・作品、課題</li> </ul>	

<p>4月</p> <p>【広がる学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熟語の構成</li> <li>・漢字に親しもう1</li> <li>・見えないだけ</li> <li>・アイスプラネット</li> <li>・問いを立てながら聞く</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。</li> <li>・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・字形や運筆、書き順などに注意し、正確に課題の字を書くことができている。</li> <li>・文字を正しく整えて速く書き写すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>		
	2	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力豊かに様々な種類の読み物を朗読できる。</li> <li>・相手の立場や考えを尊重し、テーマや目的に沿って発表を聞き取ることができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> </ul>	<p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> </ul> <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>		
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)		
<p>5月</p> <p>【多様な視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう2</li> <li>・文法への扉1</li> <li>・枕草子</li> <li>・思考の視覚化</li> <li>・多様な方法で情報を集めよう</li> <li>・クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>・魅力的な提案をしよう</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。</li> <li>・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。</li> <li>・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文法（品詞の分類）の小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・古文・漢文の基礎知識、基本単語を理解することができ、小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・習得した新出漢字や語彙などを用いて、用法・文法ともに概ね正しい文章を書くことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>		
	2	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。</li> <li>・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。</li> </ul>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて適切に内容や表現を選択し工夫して発表をすることができる。</li> <li>・討論活動において積極的に情報を収集し、相手の気持ちや考えをくみ取りながら意見交換をすることができる。</li> </ul>	<p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> </ul>		

		<p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。</li> <li>・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朗読テスト</li> <li>【書く】</li> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> <li>【読む】</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	
6月 【情報社会を生きる】	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。</li> <li>・情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「知識・技能」に関する問題の正解率が50%以上である。</li> <li>・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアを比べよう</li> <li>・メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> <li>・「自分で考える時間」を持つ</li> </ul>	2	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や意図に応じて社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りテストの点数が50%以上である。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> <li>・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【話す・聞く】</li> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> <li>【書く】</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> <li>【読む】</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	

<p>7月</p> <p>【言葉と向き合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・類義語、対義語、多義語</li> <li>・短歌に親しむ</li> <li>・短歌を味わう</li> <li>・言葉の力</li> <li>・言葉を比べよう</li> </ul> <p>【読書生活を豊かに】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を楽しむ</li> <li>・翻訳作品を読み比べよう</li> </ul>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> <li>・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	
	<p>2</p>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。</li> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。</li> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて適切に内容や表現を選択し工夫して発表をすることができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> </ul> <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・読書レポート</li> </ul>	
	<p>3</p>	<p>(共通項目)</p>	<p>(共通項目)</p>	<p>(共通項目)</p>	
<p>9月</p> <p>【人間のきずな】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語</li> <li>・同じ訓、同じ音を持つ漢字</li> <li>・漢字に親しもう3</li> </ul>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。</li> <li>・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・盆土産</li> <li>・字のない葉書</li> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・表現を工夫して書こう</li> <li>・表現の効果を考える</li> </ul>	<p>2</p>	<p>できる。</p> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</li> <li>・表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。</li> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。</li> <li>・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>	
<p>10月</p> <p>【論理を捉えて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう4</li> <li>・モアイは語る—</li> </ul>	<p>3</p>	<p>(共通項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。</li> </ul>	<p>(共通項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得した新出漢字や語彙などを用いて、用法・文法ともに概ね正しい文章を書くことができている。</li> </ul>	<p>(共通項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	
<p>地球の未来</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の吟味</li> <li>・根拠の適切さを考えて書こう(意見文)</li> <li>・異なる立場から考える</li> <li>・立場を尊重して話し合おう</li> <li>・月夜の浜辺</li> </ul>	<p>1</p> <p>2</p>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。</li> <li>・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と</li> </ul>	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りテストの点数が50%以上である。</li> <li>・様々な形式の討論(ディベート、グループディスカッションなど)の特徴を理解し、状況に応じて適切に発表することができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> <li>・確かな根拠に基づいて、構成や反論に配慮しながら意見文をまとめることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> </ul>	<p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> </ul> <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> </ul>	

		例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。		・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	
11月 【古の心を訪ねる】 ・源氏と平家 ・扇の的一— 「平家物語」から ・仁和寺にある法師— 「徒然草」から ・漢詩の風景	1	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。 ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。	・古文・漢文の基礎知識、基本単語を理解することができ、小テストの正解率が50%以上である。	・定期考査 ・小テスト ・音読テスト ・暗誦テスト ・毛筆、硬筆課題	
	2	A 話すこと・聞くこと ・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 B 書くこと ・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。 C 読むこと ・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。 ・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	A 話すこと・聞くこと ・聞き取りテストの点数が50%以上である。 ・表現力豊かに様々な種類の読み物を朗読できる。 B 書くこと ・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。 C 読むこと ・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。 ・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。	【話す・聞く】 ・スピーチ ・プレゼン発表 ・定期考査 ・小テスト ・暗誦テスト ・聞き取りテスト ・朗読テスト 【書く】 ・定期考査 ・小テスト ・作文などの課題 ・詩歌 ・ノート 【読む】 ・定期考査 ・小テスト	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	
12月 【価値を知る】 ・漢字に親しもう5 ・文法への扉2 ・君は最後の晚餐を知っているか	1	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。	・文法（品詞の分類）の小テストの正解率が50%以上である。 ・表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。	・小テスト ・音読テスト ・暗誦テスト ・毛筆、硬筆課題	
	2	A 話すこと・聞くこと ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切	A 話すこと・聞くこと ・相手の立場や考えを尊重し、テーマや目的に沿って	【話す・聞く】 ・スピーチ	

<p>・魅力を効果的に伝えよう(鑑賞文)</p>		<p>さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。</p> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</li> <li>・読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。</li> <li>・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。</li> </ul>	<p>発表を聞き取ることができる。</p> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> <li>・確かな根拠に基づいて、構成や反論に配慮しながら意見文をまとめることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼン発表</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> </ul> <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> </ul>	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	
<p>1月</p> <p>【読書に親しむ】</p> <p>・研究の現場によるこそ</p>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本や文章などには、様々な立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語彙の習得に努め、多様な表現に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	
	2	<p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。</li> <li>・目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することができる。</li> </ul>	<p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書レポート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	
<p>2月～3月</p> <p>【表現を見つめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう6</li> <li>・文法への扉3</li> <li>・話し言葉と書き言葉</li> <li>・送り仮名</li> </ul>	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「知識・技能」に関する問題の正解率が50%以上である。</li> <li>・漢字の読み書き小テスト、文法(品詞の分類)の小テスト、表現技法や語彙などの小テストの正解率が50%以上である。</li> <li>・話し言葉と書き言葉の特徴について理解することが</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・音読テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・毛筆、硬筆課題</li> </ul>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス</li> <li>・構成や展開を工夫して書こう（物語）</li> <li>・国語の学びを振り返ろう</li> <li>・木</li> </ul>	2	<p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。</li> <li>・根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。</li> </ul>	<p>できる。</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りテストの点数が50%以上である。</li> </ul> <p>B 書くこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「書くこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> <li>・与えられた条件や指示に従い、表現を工夫して文章を書くことができる。</li> <li>・読み物や調べた内容をもとに、伝え方を考え、書き方に注意して、読み手を意識した文章を書くことができる。</li> <li>・新聞の書き方やレイアウトの効果を理解し、的確に文章を書くことができる。</li> <li>・確かな根拠に基づいて、構成や反論に配慮しながら意見文をまとめることができる。</li> </ul> <p>C 読むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査で「読むこと」に関する問題の正答率が50%以上である。</li> <li>・様々な種類の文章に触れ、その文章の構造を捉えたり、筆者の考えを的確に読み取ったりすることができる。</li> <li>・様々な文章を読み、自分の意見をもったり、深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>【話す・聞く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ</li> <li>・プレゼン発表</li> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・暗誦テスト</li> <li>・聞き取りテスト</li> <li>・朗読テスト</li> </ul> <p>【書く】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> <li>・作文などの課題</li> <li>・詩歌</li> <li>・ノート</li> </ul> <p>【読む】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・小テスト</li> </ul>	
	3	(共通項目)	(共通項目)	(共通項目)	